

## 第3章 基本方針

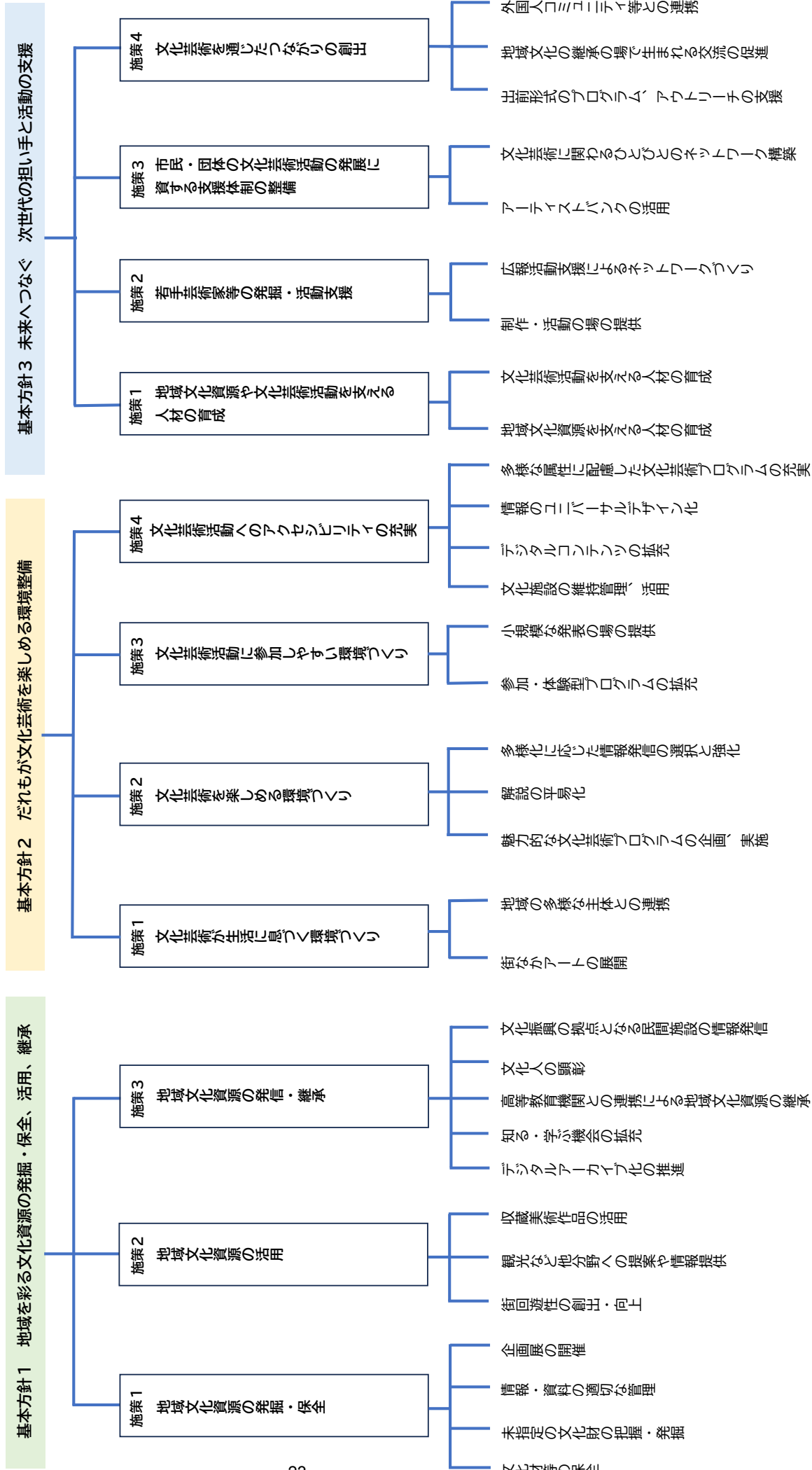


いちかわかるた (詳細は p.69 へ)  
「鴨の群れ 冬越えをする 新浜鴨場」



# 1. 第2次市川市文化振興ビジョンの体系

めざすべき姿 ともに育む 文化が息づき多彩な感性が輝くまち



## 2. 基本方針

### 基本方針1 地域を彩る文化資源の発掘・保全、活用、継承

市川市で守り伝えられてきた有形・無形文化財や市川市を特徴づける景観等を保全するとともに、施設や人材、活動などさまざまな地域文化資源の掘り起こしや再評価を行い、積極的な活用を図ります。

#### 1 地域文化資源の発掘・保全

指定の有無に関わらず有形・無形文化財の発掘・保全を進めるとともに、データベース化により適切な管理を進めていきます。

##### 文化財等の保全

史跡等の文化財、地域の伝統文化、民俗文化等が失われることがないように、保全・継承していきます。

##### 未指定の文化財の把握・発掘

市内に残る指定・登録がされていない文化財の現況を把握し、所有者の承諾のもと、専門家による調査を行い、文化財指定基準に沿って指定等を進めます。また、埋蔵文化財の発掘調査によって、地下に眠る文化財の実態を把握します。

##### 情報・資料の適切な管理

市内の歴史的、文化的な資産について各種情報・資料をデータベース化し、市民等が自由に閲覧し共有できる学習ツールの整備を図るとともに、各地域において郷土の歴史・文化を学習できる場と機会の拡充を図っていきます。

##### 企画展の開催

考古博物館、歴史博物館等において、新たな知見や最新の調査結果を反映した展示を行い、博物館機能の充実を図ります。

#### 2 地域文化資源の活用

歴史的な建造物や史跡、市を特徴づける景観等を巡ることができる街回遊性の創出・向上と、それら文化資源の活用について観光や商工振興など幅広い分野に提案し、地域の魅力の再発見を図ります。

##### 街回遊性の創出・向上

「文化の街かど回遊マップ」を主としたマップや回遊ルートに係る案内板等の情報を更新すると

ともに、それらの認知度を高め活用の幅を広げるために、配布や形式、方法について再検討します。

#### 観光など他分野への提案や情報提供

観光や商工振興といった異なる分野から市川市の魅力を広く発信するにあたり、市川市を特徴づける地域文化資源の情報を積極的に公開し、活用方法の提案をしていきます。

#### 収蔵美術作品の活用

市が所有するゆかりの作家の美術作品等を適切に管理するとともに、市民に広く鑑賞してもらい、ゆかりの文化芸術について一層理解を深めてもらえるよう展示機会の拡充を図ります。

### 3 地域文化資源の発信・継承

デジタルアーカイブ化によりだれもが地域文化資源について知ることができる環境づくりを進めるとともに、地域文化資源についての関心を高め、学べる場と機会の充実を図ります。また、高等教育機関と連携することで、より多角的な保全・継承の可能性をさぐります。

#### デジタルアーカイブ化の推進

デジタルアーカイブ化により、時間や場所の制限なくだれもが資料を閲覧、利用できるようにすることで活用の幅を広げるとともに、資料の劣化や破損を防ぎ物理的な損失のリスクを軽減します。

#### 知る・学ぶ機会の拡充

ワークショップ等を開催することで、身近にある地域文化資源について学べる場と機会を充実させるとともに、効果的な情報発信により普及・啓発を推進します。

#### 高等教育機関との連携による地域文化資源の継承

大学と連携し、VR等のデジタル技術の活用により、古い民家や近代建築等、地域において歴史的な価値の高い建築物等について記録し、継承していきます。

#### 文化人の顕彰

市民の誇りとなる文化人を顕彰し、その文化人の作品や業績等に親しみ触れる機会を拡充します。

#### 文化振興の拠点となる民間施設の情報発信

市内に点在する文化振興の拠点となるギャラリーやスタジオ等の民間施設の情報を集約し、市民が自由に閲覧し必要な情報を収集できるよう発信していきます。

## 基本方針 2 だれもが文化芸術を楽しめる環境整備

文化施設やデジタル技術を活用しながら、日常のなかに「文化芸術との出会いの場」を創出し、時間や場所にとらわれることなくだれもが文化芸術を楽しめる環境を整えます。

### 1 文化芸術が生活に息づく環境づくり

日常のなかに文化芸術との接点を増やし、興味関心を抱くきっかけを創出するとともに、文化芸術がもたらす癒しや心の豊かさが日々の生活に浸透することをめざします。

#### 街なかアートの展開

ひとつひとつの生活動線上にある施設等において、作品を展示したり小規模な公演を行ったりすることで、特別な場所に出向くことなく文化芸術に出会える経験を生活に根付かせます。

#### 地域の多様な主体との連携

民間企業や自治会、商店会といった地域の多様な主体と連携し、祭りやスポーツ、国際交流、食文化等といった異分野のイベントに文化芸術を組み込む等より魅力的なイベントにすることで、普段興味関心が薄い層にも「自分が好きなもの」を通じて自然な形で文化芸術との接点をもたらします。

また、教育機関と連携し、子どもの頃から文化芸術に触れることで、それらが学びや遊びの一部であるという意識を浸透させながら、想像力や表現力、豊かな感性を育みます。

さらに、地域の多様な主体と連携することで、文化芸術団体の担い手不足の解消や担い手の育成を図っていきます。

### 2 文化芸術を楽しめる環境づくり

文化芸術鑑賞をしやすい環境を整え、主体的かつ継続的に文化芸術を楽しめる環境を整えます。

#### 魅力的な文化芸術プログラムの企画、実施

文化芸術に興味関心をもつ最初のきっかけとなるような、経済的負担や心理的ハードルを下げた、気軽に参加できる無料・安価で魅力的な文化芸術プログラムを企画します。

#### 解説の平易化

専門的な内容について「知りたい」と興味を引き出せるような解説を講じ、予備知識がなくても「自分にもわかる」と感じられるよう平易な言葉を使用するとともに、音声ガイド、動画等のさまざまな手法から効果的な手段を活用します。

#### 多様化に応じた情報発信の選択と強化

多様な属性のひとつひとつが、普段から使用しているツール上で文化芸術に関する情報を得られるよう、情報発信の手法を選択し強化します。デジタルミュージアムにより高精細デジタル画像などを

オンライン配信し、多くの方が日常的に市の文化・芸術に親しみ触れられる場所や機会を提供することもその手法の一つとします。

### 3 文化芸術活動に参加しやすい環境づくり

鑑賞・実践の枠にとらわれず、文化芸術活動に参加できる機会の充実を図ります。

#### 参加・体験型プログラムの拡充

ワークショップや対話型鑑賞会等の開催により、文化芸術活動を気軽に実践したり、鑑賞者として参加したりできる機会の拡充を図ります。

#### 小規模な発表の場の提供

市民ギャラリーなど、市民が作品やパフォーマンスを気軽に発表できる小規模な場所を確保し、「自分も表現できる」という経験を通して、文化芸術活動の継続と発展を図ります。

### 4 文化芸術活動へのアクセシビリティの充実

文化施設や文化芸術プログラムの物理的なバリアを取り除くとともに、身体的・心理的・情動的なバリアを解消し、年齢、性別、言語、障がいの有無などに関わらず、だれもが文化芸術に触れ、主体的に参加できる環境を整備します。

#### 文化施設の維持管理、活用

文化施設の適切な維持管理ならびに文化芸術の拠点として必要な機能設備を充実させるとともに、多言語表記ややさしい日本語の使用、ピクトグラムの活用等をはじめとしたユニバーサルデザインを推進します。

#### デジタルコンテンツの拡充

インターネットを通じたデジタルミュージアムの公開や配信といったデジタル技術の活用により、多様化する文化活動への参加形態を尊重し、ひとりひとりの生活に合った文化芸術への関わり方を選択できる環境整備を進めます。

#### 情報のユニバーサルデザイン化

だれもが等しく文化芸術に関する情報を得られるよう、多言語対応やデジタルアーカイブにおける字幕・音声解説対応など、多様な伝達手段を用いた情報発信におけるユニバーサルデザインを推進します。

#### 多様な属性に配慮した文化芸術プログラムの充実

未就学児も一緒に鑑賞できる公演や触れる展示、舞台手話通訳や字幕など、多様な属性のひとびとが特別な心理的・物理的・経済的な負担をすることなく参加できる文化芸術プログラムを企画しその充実を図ります。

## 基本方針 3 未来へつなぐ 次世代の担い手と活動の支援

次代を担う子どもや若手芸術家、地域文化資源のサポーター等多彩な担い手の発掘と育成を図ることにより、文化芸術が持つ力を最大限に発揮し、地域社会に根付かせ、未来へと継承していきます。

### 1 地域文化資源や文化芸術活動を支える人材の育成

地域文化資源や文化芸術活動を未来へつなげていくために不可欠な担い手として、専門的かつ意欲的な人材の育成を図ります。

#### 地域文化資源を支える人材の育成

地域文化資源の案内や普及に携わる市民団体等と連携して、豊富な知識や長年の経験を継承できる講習会等を開催し、次世代の育成を進めます。

#### 文化芸術活動を支える人材の育成

音楽、美術、文芸等の各種文化イベントの企画・運営に係る市民ボランティア・サポーターの育成と確保を図ります。

### 2 若手芸術家等の発掘・活動支援

地域に潜在する若手芸術家等の発掘や創作・発表を続けられる環境づくりを進めることで、未来を担う芸術家が活動の場を広げられるよう支援します。

#### 制作・活動の場の提供

普段と異なる環境で新たな発想やインスピレーションを得ながら制作に打ち込める場やプログラムを提供し、キャリア形成や活動の支援を図ります。

#### 広報活動支援によるネットワークづくり

SNS や市公式 Web サイト、公共施設等において広報活動を支援し、市川市で活動する若手芸術家や文化人を市内外へ積極的に発信します。

### 3 市民・団体の文化芸術活動の発展に資する支援体制の整備

プロ・アマチュアを問わず、市民・団体の文化芸術活動が、自立的・持続的に発展していくための活動基盤の強化を図ります。

#### アーティストバンクの活用

アーティストバンクの登録・公開を引き続き行うとともに、市民・団体・民間企業等が利用しやすいように情報発信に力を入れ、アーティストの活動機会を拡充します。また、利用率等実績がわかる

ような仕組みづくりをすることでアーティストバンクの有用性を評価し、更なる活性化を図ります。

#### 文化芸術に関わるひとびとのネットワーク構築

市民・団体、アーティストの広報活動の一助となり、相互協力や共同事業を促進する「情報交換の場」を整備し、ネットワークの構築を図ります。

### 4 文化芸術を通じたつながりの創出

ライフスタイルや価値観が多様化するなかで、地域社会において孤立することなく相互理解、交流を深めるために、文化芸術活動を通じたつながりを生み出す取り組みを推進します。

#### 出前形式のプログラム、アウトリーチの支援

医療、福祉、教育現場等へのアウトリーチを推奨し、人と人、人と文化の接点を増やす活動を支援します。

#### 地域文化の継承の場で生まれる交流の促進

地域に根付き育まれてきた伝統文化や民俗文化財等の保存・継承を進めるなかで、歴史や愛着を通じた「つながり」の創出を図ります。

#### 外国人コミュニティ等との連携

市川市国際交流協会をはじめとした市民団体や在住外国人のコミュニティなどと連携し、互いの文化や芸術を紹介する機会を設けることで、文化交流を通じた相互理解を深めます。

### 3. リーディングプログラム方針～街かどミュージアム 2.0～

#### ▶▶▶ 地域の文化をみんなでつなぐミュージアム都市の推進

「文化振興ビジョン（第1次）」リーディングプログラムで掲げた「街かどミュージアム構想」で整備した文化施設のさらなる活用と周知を通じ、市内に点在する文化資源をつなぎます。だれもが日常生活の中で文化芸術に出会い継続して文化活動に参加し創り出すことができるように、中核となる市立近現代美術館の開設も視野に検討を進めながら共創型ミュージアム都市をめざします。

#### 地域文化を学び、つなぎ、継承する

- ・文化施設を拠点に周辺の文化財など地域資源を見つけ、学ぶことで地域文化への理解を深める機会を創出します。
- ・文化施設をはじめ、駅や店舗、教育施設、市役所などでの収蔵作品等のサテライト展示を通じ、文化芸術が生活に息づく環境づくりを進めます。

#### 地域の拠点での共創により、だれもが文化に出会い、文化を楽しめるまちへ

- ・地域に点在する文化施設をはじめとする創作拠点での制作・展示・鑑賞・体験など、だれもが多様なかたちで文化活動に参加できる機会の充実を図ります。
- ・文化に関する情報発信を強化し、多様なツールでだれもが情報にアクセスできるよう、発信の手法を選択し強化します。

#### 多様な主体と未来をつくる

- ・文化施設などを若手芸術家や文化人の創作の場として活用し、活動支援につなげるほか、子どもや学生など若い世代が参加できる文化プログラムの充実を図ります。
- ・地域文化資源や文化芸術活動を支える人材を育成します。
- ・市内で活動する個人や団体が自立的・持続的に活動を続けるための支援を行います。

